

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

- RPN1/MECOM (3q逆位・転座) (依頼コード No.11700/57116)  
(inv(3),t(3;3))

受託開始日 2017年9月1日(金) 受付分より

3番染色体長腕部q21領域とq26.2領域との間の逆位および転座は、急性骨髄性白血病(AML)では5%未満の異常ですが、予後不良因子とされています。3q26.2に座位するMECOM(MDS1 and EVI1 complex locus gene)は、分化抑制、増殖刺激、増殖抑制シグナルの遮断やアポトーシスの抑制などの機能を有し、3q21と3q26.2との逆位や転座によりMECOM遺伝子が過剰発現することで発症すると考えられています。inv(3)、t(3;3)は骨髄異形成症候群(MDS)や慢性骨髄性白血病(CML)の急性転化時にみられることもあり、付加異常としては7番染色体の異常(7モノソミー/del(7)長腕欠失)が多く認められます。

本検査はFISH法により、3q21のRPN1遺伝子近傍と3q26.2のMECOM遺伝子近傍との逆位や転座により生じる融合シグナルの有無を検出します。inv(3)やt(3;3)は染色体G分染法でも検出可能ですが、分裂細胞が得られない場合でも本法では融合シグナルとして検出することができ、治療方針の決定や予後の予測に有用です。

裏面に続きます

株式会社 第一岸本臨床検査センター

札幌本社:〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

**受託要領**

依頼コードNo.	11700/57116
検査項目名	RPN1/MECOM
検体必要量	骨髄液 0.5mL ヘパリン加血 3.0mL
容器	骨髄液 X-2 ヘパリン加血 B-18
検体の保存方法	冷蔵(凍結不可)
所要日数	5~10
検査方法	FISH法
基準値	なし
単位	なし
検査実施料/判断料	2712点+(分染法加算397)点/125点(血液学的検査)

**骨髄液の採取について**

穿刺の前に注射器管内をヘパリンで潤した後、ヘパリンを完全に排出。

穿刺液は採取後空気を入れてゆっくり転倒混和し、専用容器(培養液入り)に約0.5mL入れ、ゆるやかに転倒混和して冷蔵保存。雑菌等が混入しないようにお願いいたします。

**【検査方法の参考文献】**

稲澤譲治: FISH実験プロトコール, 128-136, 1997. (秀潤社)